

# 卓 話 集

平成 20 年 4 月 2 日

《クラブフォーラム》

卓話者 岐阜新聞社 編集局  
副局長 兼 報道本部報道部長  
野村 克之

テーマ：『 今後、一年を展望する』



1. アメリカの景気低迷が日本にかなり波及しており、少し楽観的に見るのであれば向こう3年位は、低迷するだろうと思った方が気が楽じゃないかと思います。
2. 北朝鮮の動きがちょっと可笑しくなって来まして、たった今、入ったニュースですとアメリカの国防省が北朝鮮のテポドン、精々アラスカ位までしか飛ばないだろうと思っていた訳ですが彼らがICBM（大陸弾道ミサイル）を開発しつつある。と国防総省が報告した訳ですがこれは非常に意図的な話でして、今まで融和策をとっていたアメリカが急転直下、強行な姿勢を見せ始めている。これに呼号するかの様に昨日、北朝鮮が韓国の大統領を呼び捨てにするとすると言う報道を始めている。 どうも経済状況が変わってくると政治状況も変わってくるという状況になりつつあります。
3. この様に政治の混乱が経済、生活者の混乱をきたして来ている訳ですがその最たるものがガソリンの暫定税率の問題です。また、2～3ヶ月したら上げるようになるのではと思います。丁度、今入ったフラッシュですと福田総理と小沢党首が来週の9日に党首討論の場をつくった様です。民主党は、ここに来てたたみかけ様という構想が出来つつある様です。この様な状況、混乱が続くなら、早く総選挙をして決着をつけ様じゃないかという世論が高まってきています。時機としては、洞爺湖サミットが終った後が一番の候補ではないかと思われまます。  
総選挙を展望するにあたって次の主役は、共産党になると僕達は、見ています。ご存知のように共産党は、全ての選挙区で候補者を出してきています。ところが次の選挙からは、得票率がトップの8%以下の処には、候補者を出さないと言う方針を出した。そうしますと例えば、岐阜1区は候補者を出すが2区～5区については出さない。そうしますと岐阜市の周辺である3区は、共産党が約2万票を取ってまして、この票がどこへ行くかで自民、民主に大きなファクターとして影響して来ます。  
また、全く新しい動きとして元三重県知事の北川さんを中心とした『センタク』と言う会の動きがあります。3月に発足し、自民、民主双方から賛同者がきております。どのようになるかは分かりませんが第3の柱になる可能性も充分あります。

4. リニア中央新幹線の話がここに来て浮上して来てます。JR東海も民間企業として十分な利益が出ています。年間収益が約5,000億円、リニア中央新幹線の設備費用が5兆円。単純計算でこの利益を10年間投資すればペイ出来る。単体企業としてだけでも十分にやって行ける訳でして、国の下手な法整備や政治の判断を待たないほうが良い。2025年頃には、リニア中央新幹線で東京へ行くというのが現実なものになっていると思われます。路線としては、東京駅は、無いそうです。品川の駅が東京始発となりそうです。ここから真西の山梨県に入り、長野の飯田を通過して名古屋へ来る。此れを直線距離で見ると岐阜は中津川から恵那の東濃を通るルートと考えられます。只、JR東海が東京、名古屋だけを結んで終るはずが無いと思うんですね。この東濃に駅を造って、鈍行形のリニヤがあっても可笑しくないし、そうなる様に、20年後を見据えて、道路や鉄道等のインフラ整備をやって措くべきではないかと考えます。そうなれば、馬籠や下呂温泉等の観光地が東京から見て凄く近い処になってくる。今から色々な岐阜県の将来の姿を描けるであろうし、此れが実現出来る様に今から十分な準備をすべきではないだろうかと言う提言をさせて戴いて、終わりにしたいと思います。

御静聴戴き有難う御座いました。